

令和 6 年度第 1 回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和 6 年 5 月 22 日（水） 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	川越市役所本庁舎 7 階 第 1・第 5 委員会室
出席委員	佐藤陽会長、齊藤副会長、大塚委員、加藤委員、峯島委員、後藤委員、大野一美委員、大畠委員、檜村委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、速水委員、増野委員、森田委員、柳井委員
事務局	福祉部障害者福祉課 忍田課長（福祉部参事）、岡安副課長、小沼副主幹、細村主任、矢島主任、小野寺主事 こども未来部療育支援課 川上課長、大岩根副課長
欠席委員	松本委員、大西委員、大野操委員
傍聴人	なし
報告	川越市障害者支援計画（令和 3 年度～令和 5 年度）の進捗状況について
議題	川越市障害者支援計画（令和 6 年度～令和 8 年度）の評価方法について
会議資料	・ 次第 ・ 川越市障害者施策審議会委員名簿 ・ 資料 1 本日の審議会のポイントについて ・ 資料 2 川越市障害者支援計画（第 6 次障害者計画）進捗状況調査結果（R3～R5） ・ 資料 3 障害（児）福祉計画の成果目標の達成状況 ・ 資料 4 障害（児）福祉サービス等の見込量と実績値 ・ 資料 5 計画の評価方法について
審議結果概要	1 川越市障害者支援計画（令和 6 年度～令和 8 年度）の評価方法について ・ 評価方法については、事務局の説明のとおり、進めていくということで、事務局には適切な運営進行をお願いしたい。 2 その他の意見について なし

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
委員	【新任委員からのあいさつ】
会長	【あいさつ】
事務局	【出欠席確認】 【会議の成立確認】 【資料確認】 【事務局紹介】
会長	【会議公開の承認】 ※傍聴者なし
事務局	【報告】 前計画（令和3年度～令和5年度）の進捗状況について、資料2、資料3、資料4に基づき事務局から報告。
委員	資料4の就労継続支援A型とB型の見込み量と実績値について伺いたい。就労継続支援B型は伸びているが、就労継続支援A型は伸びていないように感じる。今年度報酬改定があったので、この数値にも影響が出て、今年度はもう少し就労継続支援A型が厳しくなるのではと考える。市の方はどう捉えているかお聞きしたい。
事務局	このデータ自体は令和5年度末のもので、今年度の報酬改定によって就労継続支援A型とB型に影響が出ている。全国的な話だが、就労継続支援A型の運営が厳しくなり、就労継続支援B型に事業を変更しようとする事業所もある。しかし、障害者総合支援法上、就労継続支援B型は総量規制があるため、就労継続支援A型から就労継続支援B型に事業変更することもできない。なおかつ就労継続支援A型は報酬の面でも厳しいので、事業廃止せざるを得ないようなことが起き始めているという話は聞いている。川越市では、そのような状況までは至っていないが、やはり報酬改定が大きく影響して、今後就労継続支援A型の事業所が減少傾向になると考えている。
委員	資料4の居宅系サービス、共同生活援助グループホームについて伺いたい。令和5年の実績を見ると、定員は503人、実績は332人となっている。あるグループホームで補助金が昨年度減額されたという話を聞いた。減額された理由は、当初見込み量よりも大幅に増えたために、各事業所で割った結果、補助金を減額せざるを得なかったということだった。この件について、説明願いたい。
事務局	当課の予算の上限を上回る補助金の申請があったため、予算上限

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	に合わせて、事業所で案分して補助金を交付した。そのため、申請額に満たない金額が交付されたという経緯があった。
委員	その当初予算は、見込量に合わせて決められているのか。
事務局	手元に資料がないため、確認した上で後日回答する。
委員	計画相談支援についてお聞きしたい。川越市で計画相談を必要としている人数と実績値を比べると、必要としている人数の何%ぐらい計画相談事業所を利用できているか。
事務局	おおよその数字だが、市内で障害福祉サービスを利用している方は約2,400人。そのうち約1,800人が、計画相談を利用しているので、約7割強の方が利用できている。そのほかの方はセルフプランということになる。
委員	それは計画相談事業所が足りてないと捉えてよろしいか。
事務局	本市でも計画相談の相談支援専門員が足りてないという認識である。前計画の3年間でも計画相談事業所の増加に取り組んでいた。事業所は増えてはいるが、同時に廃止する事業所も多く、伸び悩んでいるという現状がある。
会長	次に、川越市障害者支援計画（令和6年度～令和8年度）の評価方法について、事務局の説明後に審議をお願いしたい。
事務局	【議題】 現計画（令和6年度～令和8年度）の評価方法について、資料5に基づき事務局から説明。
会長	資料5の評価方法について事務局より説明をいただいた。意見等あるか。
委員	【意見なし】
会長	これから新たな計画を実行し、進捗状況の管理を行い、今説明いただいたような評価指標に基づいて評価をしていく。委員から質問等は特にないようなので、議題の評価方法については、事務局の説明のとおり、進めていくということで、事務局には適切な運営進行をお願いしたい。
会長	その他について、事務局から何かあるか。
事務局	5月8日に開催された本市の別の附属機関である川越市社会福祉審議会の全体会において、社会福祉審議会の中にある障害に係る専門分科会と、本審議会を一つにしておきたいのご意見があった。この件については、今後庁内の関係課と検討予定だが、本施策審議会に影響が生じる場合は、改めて皆様に説明させていただ

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	く。
会長	別の審議会での意見を踏まえながら、事務局で検討していただき、施策審議会に影響がある場合は確認しながら事務を進めていただきたい。
会長	本審議会の委員会については本日が最後の議会という形となる。委員の皆様にご尽力いただいたので、任期最後のところでお1人ずつご挨拶いただきたい。
委員	【あいさつ】
会長	皆様のご挨拶が終わったので、議長の任を解かせていただく。
事務局	委員の皆様は、本日が任期中最後の会議となります。障害者施策に関して、貴重なご意見をいただき、本市の障害者障害福祉行政に対して多大なるご尽力を賜りましたこと、お礼申し上げます。 以上をもちまして、令和6年度第1回障害者施策審議会を終了させていただきます。
	以上